

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	小ぎく10a、夏ぎく10a、秋ぎく20a、電照ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目								親株管理	台・土△		◎	—————	
2年目				—————	摘心	—————		□	~~~~~				□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	50 m ²	4,620,000	17	770,000	770,000	15	51,333	8	359,333	100	14,373
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 台	143,220	17	23,870	23,870	7	3,410	4	10,230	100	409
管理機	3.5ps	1 台	188,100	17	31,350	31,350	7	4,479	4	13,436	100	537
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	70,400	17	11,733	11,733	7	1,676	4	5,029	100	201
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	312,400	17	52,067	52,067	7	7,438	4	22,314	100	893
トラクタ	4WD 20ps	1 台	1,973,400	17	328,900	328,900	7	46,986	4	140,957	50	2,819
ロータリ	160cm	1 台	325,600	17	54,267	54,267	7	7,752	4	23,257	50	465
畦立てマルチャー	14～25ps	1 台	518,100	25	129,525	129,525	7	18,504	4	55,511	100	2,220
下葉取り機		1 台	231,000	17	38,500	38,500	7	5,500	4	16,500	100	660
刈払機		1 台	60,500	17	10,083	10,083	7	1,441	4	4,321	100	173
軽トラック	660cc、4WD、350kg積	1 台	1,200,000	17	200,000	200,000	4	50,000	2	100,000	100	4,000
合計			9,642,720		1,650,295	1,650,295		198,518		750,889		26,751

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
きく	風鈴 など	小ぎく (7/中～8/中出荷)	32,000本	排水良好な水田転作畑	10a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準		10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 ($\frac{L}{10a}$)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
親株の管理	7～8	油かす	10kg	人力	○採花時に無病の優良株を選び、親株とする(1,200～1,500株)。 ○萌芽を促すため、株元に油かすを10kg/a 施す。 ○地表から3～5cmの高さで台刈りする。 ○土入れは萌芽のところへ丁寧に行う(腐葉土等を用いると発根、発芽がよい)		2	8.0	
台刈り・土入れ	8/上～8/中			人力 人力			2	16.0	
かき芽の仮植	9/上～9/中	苦土入りセルカ2号 花子 50%寒冷紗	4kg 4kg 3m×30m	トラクタ・ロータリ 人力 灌水ポンプ	○露地に本ば10 a あたり60～80㎡の仮植床を作る。 ○発根した芽を手でかき取り、10×10cmの間隔で植え付ける。 ○十分に灌水し、寒冷紗で遮光する。	1 0.5	2.0	8.0	軽油 4.5 ガソリン 0.5
仮植床土壌消毒	10/上	クロルピクリン 古ビニール	6 kg 100㎡	管理機 土壌消毒機 トラクタ・ロータリ	○ハウス内に本ば10 a あたり60～80㎡の仮植床を作る。 ○適度な土壌水分状態で処理する。 ○処理後古ビニールで被覆しハウスを閉め切る。 ○消毒後はガスが抜けるまでていねいに耕転する。	1	1.0	8.0	ガソリン 1.0 軽油 4.5
仮植床準備	10/下～11/上	苦土入りセルカ2号 花子	4kg 4kg	トラクタ・ロータリ	○畦幅80cm 通路50cm	1	1.0	4.0	軽油 4.5
冬至芽仮植	11/中～下			人力	○冬至芽が発生した苗を10cm×10cmの間隔で定植。1,200～1,500株。		2.0	8.0	
親株の摘心	12/上～2/下			人力	○草丈が10cm程度伸長したとき摘心しわき芽を増やす。 ○親株の最終摘心は挿し芽の約25日前。		1.0	8.0	
採穂・挿し芽	3/中～下	オキシベロン液剤 200穴セル成型トレイ メトロミックス350 ポリフィルム 50%寒冷紗	30ml 75～90枚 5～6袋(450 $\frac{1}{2}$) 3m×11m 3m×11m	人力	○定植予定日の2週間前に挿し芽する。 ○挿し穂の折口にオキシベロン2倍を処理、挿し芽床をポリフィルムで覆い、その上に寒冷紗をかける。		2.0	40.0	
本 圃 準 備	3/中～3/下	堆肥 苦土入りセルカ2号 花子 ミネラル宝素 苦土重焼燐 白黒マルチ 0.03×135	3 t 100kg 200kg 100kg 60kg 700m	トラクタ・ロータリ マルチャー 灌水ポンプ	○畦幅80～85cm 通路50cm ○灌水を十分にす。	6.0 1.0	2	14.0	軽油 13.5 ガソリン 2.0 ガソリン 1.0
定 植	4/上～中			人力	○マルチに穴を開ける。 ○条間30～35cm、株間10～15cm 定植苗数12,000本～15,000本/10 a		2	48.0	
除 草	4/上～中	トレファナイド [®] 乳剤	200ml	背負動噴	○通路に除草剤を散布する。	1.0	2	1.5	ガソリン 1.0
支柱立て・ ネット張り	5/中	フラワーネット 12cm×5目 支柱パイプ 130cm	700m 1,000本	人力	○定植時から草丈30cmまでに行う。 ○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。		2	24.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	燃 料 消費量 (ℓ/10a)
摘 心	4/中～下			人力	○定植10～15日後、4～5節残して摘心する。		2.0	8.0	
整 枝	5/中～下			人力	○大きさのそろった芽を2～3本に整理する（35,000～36,000本/10a）。		1.0	30.0	
除 草	4/中～8/中			人力	○適宜、手取除草を行う。		2	24.0	
灌 水	7/上～8/中			灌水ポンプ	○乾燥時に適宜灌水する。	4.0	1.0	4.0	ガソリン 4.0
収穫・調製	7/中～8/中	段ボール 輪ゴム クラフトテープ	320箱 16ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20.0	2.0	470.0	ガソリン 20.0 電気 100.0
病虫害防除	通年	ジェイエース粒剤 アルバリン顆粒水溶剤 カスケード乳剤 モスピラン水溶剤 アドマイヤーフロアブ® ニッソラン水和剤 ハチハチ乳剤 ジマンダイセンフロアブ® ダコニール1000 サブロー乳剤 ストロビーフロアブ®	9kg 250g 200ml 35g 310ml 150g 110ml 390ml 865ml 610ml 510ml	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	39.0 24.0	2	48.0	ガソリン 56.0 ガソリン 24.0
合 計								771.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	1,376,000	小ぎく 生産量①： 32,000 本 単価②： 43 円／本
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	1,376,000	
生 産	生産原価	種 苗 費	60,000	
		肥 料 費	75,183	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	54,800	〃
		諸 材 料 費	60,131	〃
		動力光熱費	32,032	
		農 具 費	35,889	機械負担価額×4％
		建物等修繕費	7,700	建物・構築物負担価額×1％
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	85,050	
		減価償却費⑤	198,518	別表のとおり
		土地改良費	8,167	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	617,469	
費	販売費一般	出荷資材費	79,580	
	管理費	販 売 諸 費	271,200	
		諸税負担金	7,327	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,413	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,642	借入資本利子率2％
		小計 (C)	369,162	
	経 営 費 (D)		986,632	注) (D) = (B) + (C)
家族労働費見積額 ⑧		895,570	農 従 労 働 時 間： 677.0 生産管理労働時間 11.9 1,300 円／時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		1,882,202	主産物単位当たり 59 円／1本 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	33,641	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) ／2×0.04	
利子(F)	固定資本利子	26,751	利子率4％	
自 作 地 地 代 (G)		10,267		
全算入生産費 (H)		1,952,860	生産物単位当たり 61 円／1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		389,368	時間当たり 565 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		28	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		-576,860	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		318,710	時間当たり 463 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		-506,202	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
親株の管理																			4.0	2.0	2.0													8.0			
台刈り・土入れ																						10.0	6.0											16.0			
かき芽の仮植																								8.0										8.0			
仮植床土壌消毒																											8.0							8.0			
仮植床準備																														4.0				4.0			
冬至芽仮植																															8.0				8.0		
親株の摘心	2.0		2.0		2.0																												2.0	8.0			
採穂・挿し芽								25.0	15.0																									40.0			
本圃準備									14.0																										14.0		
定植										48.0																									48.0		
除草											1.5																								1.5		
支柱立て・ネット張り													12.0	3.0	3.0	3.0	3.0																	24.0			
摘心											4.0	4.0																							8.0		
整枝														20.0	10.0																				30.0		
除草											8.0		4.0		4.0		4.0		4.0																24.0		
灌水											1.0		0.5	0.5		0.5		0.5	0.5																4.0		
収穫・調製																			40.0	230.0	200.0														470.0		
病虫害防除		1.0		1.0		1.0	1.0		1.0		1.5	1.5	2.0	2.0	3.0	3.0	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	3.0		2.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	48.0		
計	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	25.0	30.0	48.0	16.0	5.5	6.5	34.5	20.0	6.5	10.5	7.0	12.5	46.5	236.0	213.0	6.0	2.0	8.0	1.0	0.0	9.0	0.0	5.0	0.0	9.0	0.0	1.0	0.0	3.0	771.5

生産管理労働時間

(11.9)